

平成23年度決算の概況

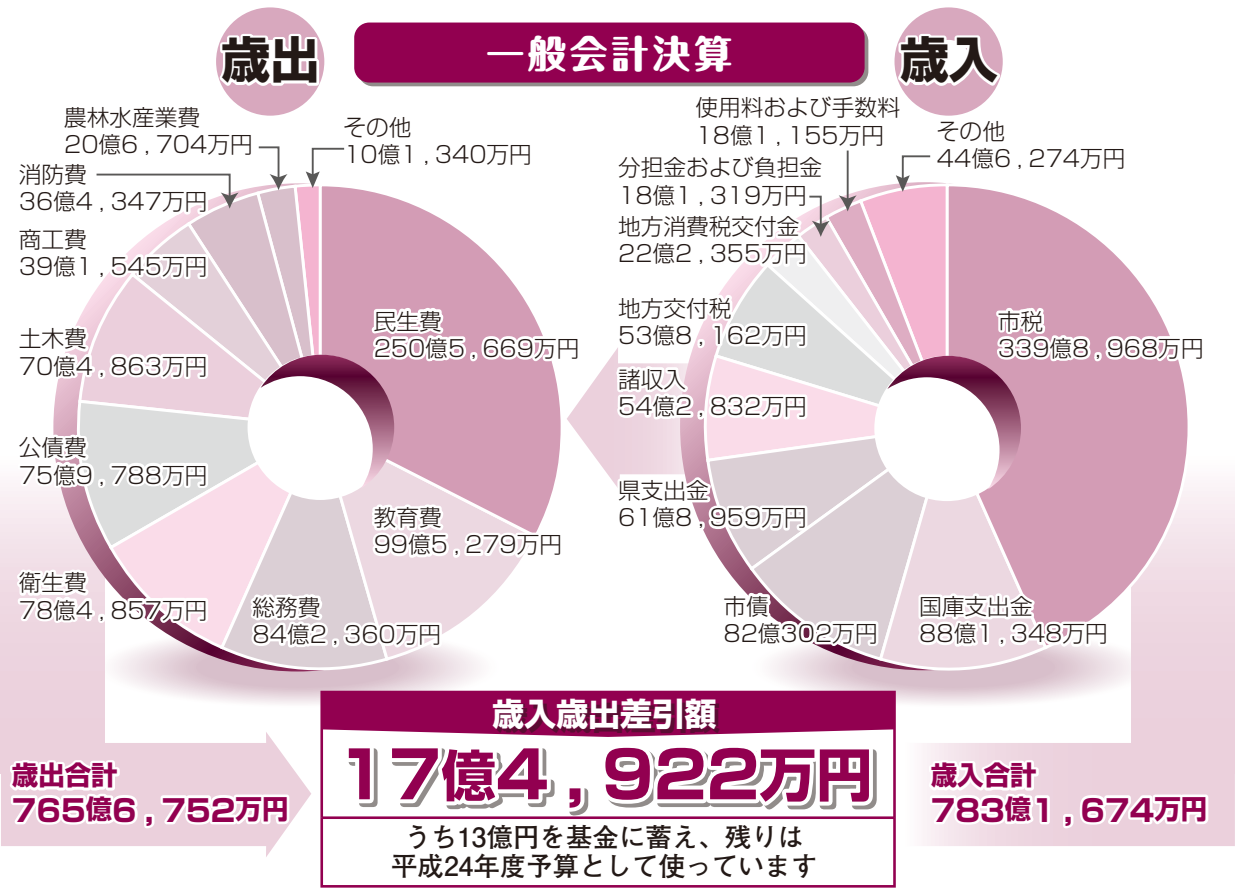
13億円を財政調整基金へ積み立て

「安全安心のまちづくり」を進めるため、学校耐震化事業や高度救急医療施設建設事業、東部消防署建設事業などの諸施策を実施しました。また、東日本大震災への対応として、被災地への職員派遣、車両購入支援金や野菜など支援物資の提供などを行う一方で、市内の被災避難者に対するアパート借上事業や支援金支給などの速やかな実施、さらには市内住宅の屋根補修補助制度の迅速な実施などに努めました。その結果となる「歳入歳出の決算」をご報告します。

一般会計の歳入決算の総額は783億1,674万円、歳出決算の総額は765億6,752万円で、前年度に比べて歳入は1.6%の増、歳出は3.1%の増になりました。

また、歳入歳出の差引額は17億4,922万円になり、翌年度に繰り越される事業の財源分を差し引いた14億2,617万円を純粋な剰余金として残すことができました。この剰余金のうち13億円を災害などの万一の不測の事態に備えるため、財政調整基金（市の貯金）に積み立て、残りの1億2,617万円を翌年度へ繰り越しました。

※単位未満の数字は端数処理をしてあります。



平成23年度 決算に基づく財政の健全化判断比率・資金不足比率を公表

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、平成23年度決算に基づく健全化判断比率および公営企業会計に係る資金不足比率を公表します。

下記のとおり平成23年度決算に基づく指標は、いずれも早期健全化基準および経営健全化基準を下回る結果になっています。

今後も、引き続き健全な財政運営に努めます。

(単位：%)				
区 分	平成23年度	平成22年度	早期健全化基準	財政再生基準
① 実質赤字比率	—	—	11.39	20.00
② 連結実質赤字比率	—	—	16.39	30.00
③ 実質公債費比率	9.0	9.4	25.00	35.00
④ 将来負担比率	98.8	104.7	350.00	

※実質収支が黒字であるため、①実質赤字比率、②連結実質赤字比率の欄は「—」です。
〈参考〉実質黒字の程度は 23 年：① 3.52%の黒字、② 12.25%の黒字
22 年：① 4.76%の黒字、② 14.56%の黒字です。

区 分		水道事業会計	下水道事業等会計	農業共済事業	経営健全化基準
資金不足比率	平成23年度	—	—	—	20.00%
	22年度	—	—	—	

※各会計とも資金不足は発生していないため、資金不足比率は「—」です。

比率などの概要

- 実質赤字比率**…一般会計などを対象とした実質的な赤字の標準財政規模に対する比率
※標準財政規模…自治体が通常水準の行政を行う上で、必要な一般財源の額（23年度＝429億6,501万2,000円）
- 連結実質赤字比率**…全会計を対象とした実質的な赤字の標準財政規模に対する比率
- 実質公債費比率**…一般会計などで借りた地方債の償還金と、公営企業が借りた地方債の償還金に対する一般会計からの繰出金などの合計額の標準財政規模に対する比率
- 将来負担比率**…公営企業や公社なども含め、一般会計などが将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率
- 早期健全化基準**…市町村の財政規模などにより設定された数値で、この基準を超えた場合は財政健全化計画の策定などが必要になる
- 財政再生基準**…市町村に設定された数値で、この基準を超えた場合は財政再生計画の策定などが必要になり、地方債の発行が制限されたりする
- 資金不足比率**…公営企業における資金の不足額（一般会計などの実質赤字に相当するもの）の事業の規模（料金収入など主たる営業活動から生じる収益などに相当する額）に対する比率

特別会計決算

会 計 名	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険	216億7,594万円	212億7,756万円
住宅新築資金等貸付	3,745万円	3,148万円
後期高齢者医療	14億8,255万円	14億6,876万円
八王子山墓園	1億6,336万円	1億2,803万円
介護保険（保険事業勘定）	112億8,953万円	111億4,502万円
介護保険（介護サービス事業勘定）	8,246万円	4,370万円
敷塚本町介護老人保健施設	2億8,278万円	2億7,415万円

※単位未満の数字は端数処理をしてあります。

歳出の用語解説

民 生 費	幼児やお年寄り、体の不自由な人のために使われるもの
教 育 費	小・中・高等学校の経費や市民の学習・文化活動に使われるもの
総 務 費	市役所の全般的な事務に使われるもの
衛 生 費	ごみ・し尿処理施設や予防接種などに使われるもの
公 債 費	借入金を返済するために使われるもの
土 木 費	道路や河川、公園の整備に使われるもの
商 工 費	商業や工業の発展のために使われるもの
消 防 費	消防活動や災害を防ぐために使われるもの
農 林 水 産 業 費	農業の発展や土地改良のために使われるもの
そ の 他	労働費や議会費、その他の歳出をまとめたもの

歳入の用語解説

市 税	市民税や固定資産税など皆さんに納めていただいた税金
国 庫 支 出 金	特定の事業を行うため国から交付されたもの
市 債	建設事業費などを補うための借入金
県支出金	特定の事業を行うため県から交付されたもの
諸 収 入	他の項目に分類されない収入
地 方 税 交 付 金	財源不足を補うため財政事情に応じて国から交付されたもの
地 方 消 費 税 交 付 金	県に納められた地方消費税が、人口と従業者割合に応じて交付されたもの
分担金及び負担金	市の施設の利用や証明書などの発行に対する料金
使用料及び手数料	市の行う事業により利益を受ける人からいただくもの
そ の 他	財産収入やその他の歳入をまとめたもの

都市計画税や入湯税など目的税の用途

- 都市計画税14億6,115万円は、街路整備、公園整備、下水道事業、区画整理事業などの都市計画事業費53億3,879万円に充てられました（充当率27.4%）。
- 入湯税366万円は、観光振興事業費1,526万円に充てられました（充当率24.0%）。

問い合わせ 財政課 ☎ 47-1816

平成24年度上半期の予算執行状況

一般会計歳入

項 目	予 算 現 額	収 入 済 額
市税	335億2,723万円	182億7,257万円
国庫支出金	86億2,353万円	34億2,379万円
市債	80億7,570万円	-
県支出金	69億3,832万円	11億4,543万円
諸収入	51億5,625万円	5億6,144万円
地方交付税	42億0,000万円	32億9,084万円
地方消費税交付金	21億7,000万円	12億4,123万円
繰入金	19億3,235万円	-
分担金および負担金	18億9,406万円	7億9,251万円
その他	41億5,979万円	19億 819万円
合 計	766億7,723万円	306億3,600万円
収 入 率	40.0%	

一般会計歳出

項 目	予 算 現 額	支 出 済 額
民生費	253億4,068万円	100億1,968万円
教育費	112億3,117万円	40億4,110万円
総務費	88億7,078万円	30億4,643万円
公債費	85億6,878万円	25億8,996万円
土木費	73億9,016万円	25億5,873万円
衛生費	52億2,230万円	19億2,343万円
商工費	41億9,182万円	20億8,314万円
消防費	34億1,027万円	14億7,944万円
農林水産業費	14億3,229万円	4億9,536万円
その他	10億1,898万円	5億 720万円
合 計	766億7,723万円	287億4,447万円
支 出 率	37.5%	

※歳入歳出には前年度からの繰越予算を含んでいます。

特別会計

会 計 名	予 算 額	収 入 済 額	支 出 済 額
国民健康保険	221億6,353万円	78億3,606万円	90億4,365万円
住宅新築資金等貸付	3,240万円	1,902万円	588万円
後期高齢者医療	17億4,066万円	5億3,438万円	5億1,343万円
八王子山墓園	4,367万円	7,470万円	689万円
介護保険（保険事業勘定）	120億8,141万円	45億7,095万円	49億2,608万円
介護保険（介護サービス事業勘定）	4,832万円	5,433万円	2,074万円
数塚本町介護老人保健施設	5億4,020万円	7,926万円	1億4,873万円

市税の負担

市税予算額	335億2,723万円	
1世帯当たり	384,654円	
市民一人当たり	151,999円	
9月30日現在の人口・世帯数	人 口	220,576人
	世帯数	87,162世帯

一般会計における9月30日現在の市債現在高

○使途別

土木債	132億5,005万円	17.6%
民生保健衛生債	58億7,615万円	7.8%
教育債	110億1,469万円	14.6%
公営住宅債	38億7,019万円	5.1%
臨時財政対策債	238億9,603万円	31.7%
その他	174億5,560万円	23.2%
合 計	753億6,271万円	100.0%

○借入先別

政府資金	422億 796万円	56.0%
地方公共団体金融機構	76億1,727万円	10.1%
銀行など	255億3,748万円	33.9%
（うち おおた市民債）	（35億円）	（4.6%）
合 計	753億6,271万円	100.0%

上半期（4月1日～9月30日）の予算執行状況

今年度の予算は、新生太田総合計画の目指す都市像である「人と自然にやさしい、笑顔で暮らせるまち太田」の実現に向けて、第6次実施計画を基本に、引き続き学校耐震化事業などの安全・安心なまちづくり事業に取り組むとともに、沢野小の増改築事業や新市民会館の建設事業など、懸案であった主要事業に取り組むための予算にしました。

一般会計の当初予算額は751億3,000万円になりました。

今後も適正な予算執行に努め、皆様のご期待に沿うよう努力します。

問い合わせ 財政課 Ⅸ 47-1816

市の財務諸表を見てみよう

市では、歳入と歳出の決算状況の他に発生主義による企業会計的な視点から、より正確な財政状況を把握するために財務諸表として「キャッシュフロー計算書」「行政コスト計算書」「貸借対照表」などを作成しています。ここで平成23年度一般会計・6特別会計決算による「キャッシュフロー計算書」と「行政コスト計算書」を紹介します。

キャッシュフロー計算書とは…

1年度間における現金の流れの状況を三つの活動区分にして表示したものです。

一般会計・6特別会計「キャッシュフロー計算書」 平成23年4月1日～24年3月31日

活 動 区 分	（歳入） キャッシュ・イン・ フロー（A）	（歳出） キャッシュ・アウト・ フロー（B）	（収支差額） ネット・キャッシュ・ フロー（C=A-B）
事務運営活動	905億円	864億円	41億円
建設活動	22億円	131億円	▲109億円
財務活動	187億円	136億円	51億円
活動合計（D）	1,114億円	1,131億円	▲17億円
資金期首残高（繰越金）（E）	41億円		41億円
資金期末残高（F=D+E）	1,155億円	1,131億円	24億円

事務運営活動：税や国からの交付金などの収入や人件費、物件費、扶助費など経常的な行政サービスを行うために要した経費

建設活動：資産形成の支出に充当される国・県からの補助金や、普通建設事業費など道路、施設整備のために要した経費

財務活動：地方債の発行、基金からの繰入収入や公債費など償還金または貸し付けに要した経費

資金期首残高（繰越金）：平成22年度決算の歳入から歳出を差し引いた額（22年度単年度収支）

資金期末残高：平成23年度決算の歳入から歳出を差し引いた額（23年度単年度収支）

経常的な行政サービスを行う事務運営活動および社会資本整備を行う建設活動に財務活動を加えた収支差額は、支出が収入を17億円上回りました。また、この収支差額に前年度からの繰越金41億円を加えた24億円が今年度の剰余金になります。なお、市の行政活動を安定して運営していくため、将来を見据えた対応の一つとしてキャッシュフロー計算書の収支差額24億円のうち13億円を財政調整基金に積み立てました。

行政コスト計算書とは…

1年度間における市の行政活動に伴い発生した全ての費用（現金支出を伴わない費用を含む）

一般会計・6特別会計「行政コスト計算書」

（1年間の経常的な行政運営に使われた費用と料金収入などとの比較）

会計区分	歳出コスト （A）	発生コスト （B）	コスト総額 （C=A+B）	料金等および 国庫等負担（D）	行政コスト （E=C-D）
一般会計	557億円	65億円	622億円	213億円	409億円
6特別会計	342億円	7億円	349億円	312億円	37億円
合 計	899億円	72億円	971億円	525億円	446億円

歳出コスト：経常的な行政運営に要した費用

発生コスト：借入金の利子、発生主義特有の現金支出を伴わない費用（退職給与引当金繰入額、減価償却費など）

料金等および国庫等負担：施設の利用料金や経常的な行政運営に対して支払いに使われる国・県の補助金など

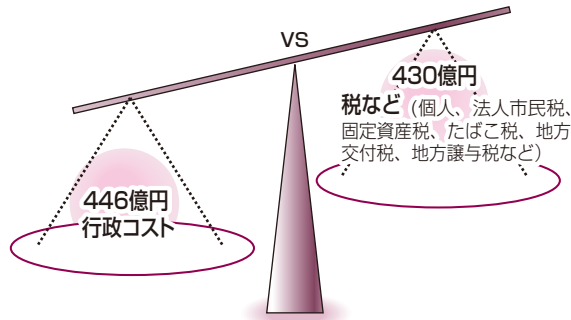
市有財産の状況

平成24年9月末日現在の市有財産現在高	
有価証券等	11億4,902万円
出資金	44億1,745万円
基金	80億4,534万円
土地（山林を含む）	6,932,105㎡
建物	850,967㎡

問い合わせ 管財課 Ⅸ 47-1822

「行政コスト」VS「税などの負担」

行政コストは、市民の皆さんが租税により負担することになるコストです。さまざまな施策の中には利用者が負担することになっているものもありますが、市のサービスの大部分は租税などに依存することになります。



※市税などの収入430億円から行政コスト446億円を引くと16億円のコスト超過になりました。先のキャッシュフロー計算書では24億円の剰余になりますが、退職給与引当金繰入額や減価償却費など現金支出を伴わない費用を含むとこのようにコスト超過になります。

問い合わせ 企画政策課 Ⅸ 47-1811